

の千代おえん、とりあつたおえん、
めます。まづ高林君の著作、
は、軽く古くは、新風社版の森と
小品の集りあります。も一つ、草子と人の中
おはいつてのます。つ、桂竹書院刊の
ら、そのまは昔のまは、三年のまは、
出た、高橋君、小部教の限定本、
は一、二冊は、其の所、残つて、
い、今、つらある、草子本、
藤人は、芝田村、
絶え、社、
八月、下、旬、
なり、
す。